

私たちに今できることは何か？ ～子や孫の世代のこれからの淡路市のために～

戸田 あつひろ 活動報告

“子育てしたくなるまち” 淡路市へ

- ・給食費無償化へ
- ・若者世帯への住宅購入補助の導入
- ・「待機学童ゼロ」へ向けた環境整備
- ・親子で遊べる屋内遊技場の整備

家族を持つことへの将来的な不安を減らし「淡路市で子育てしたい」と思える環境を整えることが必要です。経済的負担を軽減し、共働き世帯が安心して働くことができる環境を整え、社会全体で子育てを応援する淡路市を目指します。



“安心して住み続けられるまち” 淡路市へ

- ・75歳以上あわ神あわ姫バス無料化へ
- ・中山間・沿岸部へのデマンド交通の導入
- ・旧小学校区単位での「小さな拠点」整備

免許を返納しても安心して生活できるように公共交通の充実を図ります。また、公共交通を充実させることで健康寿命の延伸にも効果が期待でき、持続可能な社会の実現に繋がります。



戸田あつひろが 目指す 次世代の 淡路市

“地域の魅力を最大限に活かすまち” 淡路市へ

- ・明石海峡大橋下段部に新交通システムの導入
- ・市内産品の販路拡大・ブランド化への伴走支援の拡充
- ・都市計画「居心地が良く歩きたくなるまち」の実現

私たち市民が「これからも暮らし続けたい」と思える環境整備の実現が必要です。淡路市の持つ魅力を最大限に活かし、子どもや孫の世代により良いカタチでバトンを渡せる環境を創ります

次世代の“市民ファーストを実現するまち” 淡路市へ

- ・市長給与50%カット
- ・市民との対話を重視した市政
- ・地域派遣職員制度の導入

市民の皆さまに対する責任感を強く持ち、行政運営においても無駄を省き、より効率的で市民に寄り添ったサービスを提供します。「市民のための市政」を実現するため「市民ファースト」の姿勢を率先垂範して貫きます。



戸田あつひろの実績

議会で訴えたことが**実現**しました!

学童保育の 受け入れ時間の延長 (総額約2億5,900万円)

共働き世帯の増加に伴う「小1の壁」の解消のため、学童保育の受け入れ時間の延長が必要!18時から19時に受け入れ時間の延長が実現しました。

子ども医療費 所得制限の撤廃 (総額約2億5,200万円)

一生懸命働いて税金も多く収める世帯の不公平感の払拭と、公平に子どもに医療を受けてもらうために所得制限の撤廃を訴えました。

中学校体育館への 空調設備設置 (総額約4,250万円)

災害時に避難所ともなる中学校の体育館への空調設備の設置を訴えました。今後も引き続き小学校体育館への空調設備の実現に向けて取り組みます。

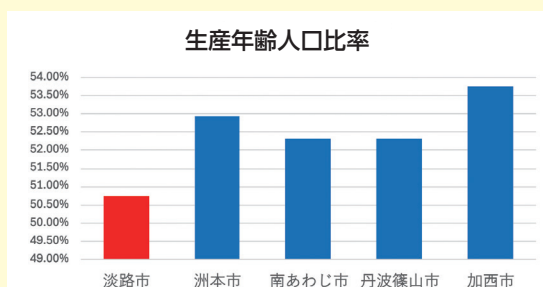


20年先の子どもや孫の世代が豊かに暮らせる淡路市へ



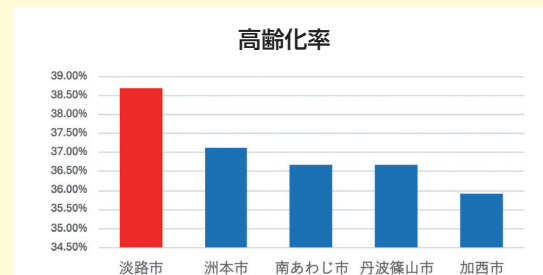
「淡路市の人口が増えた」って聞くけど、本当に増えているの？

淡路市の人口は毎年約500人ずつ減少しており、**20年で1万人以上減少しています**。特に「生産年齢人口」と言われる15歳から64歳の人口が大きく減っています。**淡路市の「社会の支え手」は他市と比べても大きく減少しているのが現状です。**



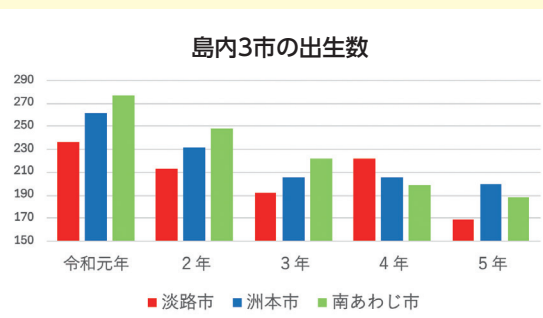
高齢化が進んでいるけど、淡路は免許を返納したら生活しづらいよね。

元気な高齢者が多いのは喜ばしいことです。今後5年で「団塊の世代」と呼ばれる世代の方々が80歳代を迎えられ、安心して暮らせる環境の整備が必要です。医療・介護費を抑制するための施策も必要となります。



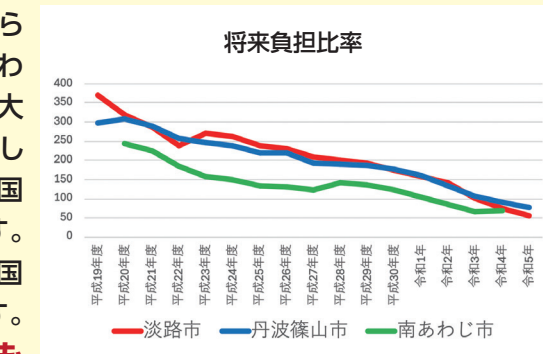
地域から子どもの姿を見なくなったけど少子化は？

淡路市の少子化は非常に深刻です。令和5年度の出生数は168人(過去最低)と**島内三市で最も少子化が進んでいます**。少子化は「静かなる有事」と言われています。その影響は淡路市をゆっくりと侵食していきます。**将来の淡路市のために改革を実行しなければ私たちの子どもや孫の世代にツケを払わせることになってしまいます。**



財政が良くなったって聞くけど、私たちの生活は良くなるの？

20年前に合併を選んだことで国からの財政措置があり、「合併特例債」と言われる特別な市債(市の借金)の利用も大きく影響し、淡路市の財政は改善しました。この「合併特例債」は元本の7割が国から交付金として措置されるものです。仮に10億円の借金をしたら、7億円を国から交付税としてもらえる仕組みです。**淡路市は震災の影響もあり他市よりも厳しい財政状況ですが、他の合併市においても同様に改善されています。**



自己紹介

戸田敦大(とだ あつひろ) 昭和60年6月24日生まれ(39歳)
岩屋中学校、明石高校、甲南大学経営学部 卒業
趣味:合気道(三段)、ランニング、読書
家族:妻と3人の娘

略歴
2008年 ゼブラ株式会社 入社
営業として名古屋支店勤務。主に北陸地方を担当する。
地方と都市部の格差や、地方の疲弊を目の当たりにし、
淡路市へ帰ることを決意する。
2010年 淡路石油株式会社 入社
2021年 淡路市議会議員選挙 初当選
2022年 産業厚生常任委員会副委員長会派「結の会」所属
2023年 総務文教常任委員会副委員長



淡路市議会議員

とだ あつ ひろ

戸田 敦大

携 帯:090-6913-7785
事務所:〒656-2401 兵庫県淡路市岩屋1414-1
MAIL:atoda1985@gmail.com



こちらのQRコードからも
皆さまのご意見・ご要望を
お聞かせ下さい!

